

問1 世界の人口動態に関する統計において、アジアやアフリカで見られる人口増加の仕組みについて述べた文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「アフリカでは1960年代以降、（ X ）によって（ Y ）が大幅に低下した一方で、（ Z ）が高いまま維持されたため、人口が急増した。」（2023年 大分県公立入試 類似）

1. X：医療の発達、Y：死亡率、Z：出生率
2. X：食料の自給、Y：出生率、Z：死亡率
3. X：産業の育成、Y：失業率、Z：定住率
4. X：技術の革新、Y：乳児死亡率、Z：識字率

問2 アフリカ大陸の東に位置するインド洋の島国マダガスカルは、古くから大陸と離れていたため、キツネザルなどのその土地にしか存在しない生物が数多く生息しています。このような生物を指す用語と、それらの自然環境を損なわずに観光資源として活用する取り組みの名称の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2023年 兵庫公立入試 類似）

1. 固有種 — エコ・ツーリズム
2. 外来種 — エコ・ツーリズム
3. 固有種 — グリーン・ツーリズム
4. 絶滅危惧種 — バカンスム

問3 アフリカ大陸の多くの国で見られる、国境線が緯線や経線に沿って直線的に引かれている歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. かつての植民地支配において、ヨーロッパ諸国が自分たちの都合で分割したため
2. 広大な砂漠地帯において、砂嵐による地形の変化を防ぐために設定されたため
3. アフリカの先住民が、それぞれの狩場を明確に分けるために話し合っただけのため
4. 独立の際に、国際連合が民族の分布を詳細に調査して平和的に画定したため

問4 アフリカ州の宗教分布と文化的な特色について述べた次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. サハラ砂漠とその北部の地域では、歴史的に西アジアとの関わりが深いため、イスラム教を信仰する人々が非常に多い。
2. サハラ砂漠より北側の地域では、かつての宗主国の影響を強く受け、キリスト教を信仰する人々が人口の大部分を占めている。
3. アフリカ大陸全土において、古くから伝わる伝統的な宗教のみが信仰されており、外来の宗教の影響はほとんど見られない。
4. 北アフリカの国々では、ヒンドゥー教が広く浸透しており、生活習慣や社会制度の基盤となっている。

問5 アフリカ大陸の赤道付近に位置する地域の中には、ケニアのナイロビのように、低緯度でありながら一年を通じて過ごしやすい冷涼な気候となっている都市があります。このように、緯度が低いにもかかわらず気温が低くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 奈良公立入試 類似）

1. 標高の高い地形が広がっており、高度が上がるにつれて気温が低下するため。
2. 寒流の影響を強く受ける沿岸部に位置し、冷たい海風が吹き込むため。
3. 広大な砂漠が広がっており、砂が熱を吸収せずに反射してしまうため。
4. 年間を通じて強い季節風が吹き、雨を伴う冷たい空気が送られるため

問6 アラブ首長国連邦の輸出統計において、1990年には原油が全体の74.7パーセントを占めていましたが、2017年には機械類が21.1パーセントで1位となり、原油は12.4パーセントに減少しています。このような変化は、同国がどのような経済状態からの脱却を目指していることを示していますか。（2022年 山口公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. 加工貿易
3. 自由貿易
4. 保護貿易

問7 コートジボワールやガーナなどの国々では、輸出額の多くをカカオ豆という特定の農産物に依存しています。このような、限られた種類の農産物や鉱産資源の生産・輸出に依存する経済体制を何といいますか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. プランテーション農業
3. グリーンレボリューション
4. 混合農業

問8 アフリカ大陸全域の資源分布を示した資料において、プラチナ、マンガン、クロムといった鉱物資源と共通する特徴を持つ用語として、正しいものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. レアメタル（希少金属）
2. 石炭
3. 鉄鉱石
4. ボーキサイト

答え合わせ・解説

問1	答え 1 X：医療の発達、Y：死亡率、Z：出生率	発展途上国における人口急増の典型的なパターンを問う問題です。外部からの医療技術の導入によって「死亡率」が先に下がり、社会構造の変化が必要な「出生率」の低下が遅れることで、その差にあたる自然増殖率が非常に高くなります。この現象はアフリカやアジアの多くの地域で見られ、食料不足や都市部でのスラム形成といった深刻な社会問題の背景となっています。
問2	答え 1 固有種 — エコ・ツーリズム	マダガスカルは独自の進化を遂げた「固有種」の宝庫として知られています。こうした豊かな自然や生態系を破壊することなく、学習や観察を目的として観光客を誘致する仕組みを「エコ・ツーリズム」と呼び、同国の重要な観光資源となっています。選択肢にあるグリーン・ツーリズムは、主に農山村での滞在型余暇活動を指すため、文脈が異なります。
問3	答え 1 かつての植民地支配において、ヨーロッパ諸国が自分たちの都合で分割したため	アフリカの国境線の多くは、19世紀末以降にヨーロッパの列強諸国が植民地として分割した際に引かれたものです。この際、現地の民族のまとまりや文化的なつながりは無視され、地図上の緯線や経線などを利用して人為的に線が引かれました。これが原因で、独立後も一つの国の中に多くの民族が混在したり、逆に一つの民族が複数の国に分断されたりすることになり、後の紛争の一因にもなっています。
問4	答え 1 サハラ砂漠とその北部の地域では、歴史的に西アジアとの関わりが深いため、イスラム教を信仰する人々が非常に多い。	アフリカ北部はサハラ砂漠を介して、あるいは地中海を通じてアラブ世界（西アジア）との交流が古くから盛んでした。そのため、言語はアラビア語、宗教はイスラム教が広く普及しており、文化的なまとまりを持っています。これに対し、サハラ砂漠より南の地域では、植民地時代の背景からキリスト教が広まった地域や、多種多様な伝統宗教が残る地域があり、大陸内で宗教分布に明確な違いがあることが特徴です。
問5	答え 1 標高の高い地形が広がっており、高度が上がるにつれて気温が低下するため。	一般に、標高が約100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がるとされています。アフリカ東部などは標高1000メートルから2000メートルを超える高原地帯となっているため、赤道直下であっても標高の影響で気温が低く抑えられ、高地気候と呼ばれる冷涼な気候になります。緯度が低くても地形の条件によって気温が変化する典型的な事例です。
問6	答え 1 モノカルチャー経済	かつてのアラブ首長国連邦のように、原油という特定の地下資源の輸出に経済を依存している状態は、資源価格の下落が国家予算に直結するリスクがあります。近年、西アジアの産油国では、観光業の振興や工業化、中継貿易の強化などを通じて、特定の資源に依存しない産業構造への転換を進めています。
問7	答え 1 モノカルチャー経済	特定の産品に経済を依存している状態は、国際価格の変動や天候による不作の影響を直接受けるため、国の経済が不安定になりやすいという課題を抱えています。ギニア湾沿岸諸国におけるカカオ豆生産はその典型的な事例です。
問8	答え 1 レアメタル（希少金属）	プラチナ、マンガン、クロムは、いずれもレアメタル（希少金属）に分類されます。これらは特定の地域に偏って存在することが多く、アフリカ大陸はその重要な供給源となっています。鉄鉱石や石炭は「ベースメタル」やエネルギー資源として古くから重工業を支えてきた資源であり、レアメタルとは区別されます。また、ボーキサイトはアルミニウムの原料となる鉱物です。